

## 令和元年度エコチル調査国際シンポジウムについて

## ■ 開催概要（予定）

タイトル	エコチル調査国際シンポジウム「アレルギー発症に関わる環境・遺伝因子：エコチル調査等の世界的コホート研究から」
目的	エコチル調査の成果を国内外の専門家等と科学的知見の共有を図る。疫学や出生コホート研究の重要性を国内小児医に啓蒙する。
日時	令和元年 11 月 3 日（日） 14：50～17：00
内容	講演者は全員小児科医でありかつ疫学に詳しいという共通点があることから、出生コホート研究を軸にして、それぞれの先生方が実施してきた研究を含めお話しいただく。
場所	幕張メッセ国際会議場 2F 国際会議室 ※第 56 回日本小児アレルギー学会学術大会のシンポジウムとして開催
主催	日本小児アレルギー学会、環境省、国立環境研究所（予定）
対象	日本小児アレルギー学会参加者 及び エコチル調査関係者
参加費	エコチル調査関係者においてシンポジウムのみ参加の場合、学会費・参加費は不要。（他のシンポジウム等に参加する場合は必要）
使用言語	日本語・英語（同時通訳あり）
座長	森 千里（千葉大学 大学院医学研究院・環境生命医学教室 教授） Erika von Mutius MD（ドイツ環境保健研究所 ぜんそくアレルギー予防センター 理事長）
講演者	日本： 大矢幸弘（国立成育医療研究センター アレルギーセンター長、エコチル調査メディカルサポートセンター長） ドイツ： Erika von Mutius MD（ドイツ環境保健研究所 ぜんそくアレルギー予防センター 理事長） 英国： Michael Perkin MB BS(Hons) PhD（ロンドン大学 セントジョージ医学校公衆衛生研究所 臨床疫学 准教授） 韓国： Soo-Jong Hong MD, PhD（蔚山大学 医学部 小児科アサン病院 環境保健センター小児ぜんそくアトピーセンター教授）
プログラム	＜第一部＞講演 ① 「千葉大予防医学センターでの出生コホートについて」 講演者：森千里 先生 ② 「エコチル調査におけるアレルギー発症に関連する因子」 講演者：大矢幸弘 先生 ③ 「欧州出生コホートでの解析」 講演者：Erika von Mutius 先生 ④ 「韓国出生コホートにおける発症関連因子」 講演者：Soo-Jong Hong 先生 ⑤ 「EAT study 離乳食介入による発症予防」 講演者：Michael Perkin 先生 ＜第二部＞総合討論